



今年の冬はインフルエンザにも注意を！
今年の冬はこの数年あまり聞かれなくなっていたインフルエンザも流行するのではないかと報道されています。十分に気をつけていきたいものです。

時代の変化と共に

校長 高橋 知毅

■私たちは、気持ちや考えを言葉にのせてやりとりしています。言葉のおかげでお互いを深く理解し合っています。でも、注意深く、観察してみると、意外に意味のない会話も多いことに気がきます。

今、子どもたちを取り巻く一つの文化として SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を媒介としたコミュニケーションがあります。本校でも高学年になると、タブレット端末を道具のように使いこなしています。スマートフォンをもつのは今やもう当たり前、小学生にとっても文化の一つとして確立しつつあります。

■「今、電車に乗った」「座れた？」「うん、座れた」「よかったね」「電車来た？」「まだ」と、短い言葉での会話。

会話がもつ意味から離れて考えると、見えてくることがあります。単に、連絡を取り合っているだけではなく、「あなたは私の友達」「これからずっと仲よし」「うん、ずっと仲よし」とお互いの関係を確認し合っているということです。子どもたちにとっては返事をしてくれないことは、友達ではないと言われるのと同じ意味をもつのかもしれません。

これは、時代の変化中で、子どもたちが自らつくりだし、進化し続けているコミュニケーションの手段であり、これからは子どもたちはその中で生きていくということになります。小学生だと、オンラインゲームはなくてはならないコミュニケーションツールになりつつあります。



■振り返ってみれば、私が子どもの頃、夜の 8 時より遅くに電話をかけることは、迷惑なことなのでしてはいけなかったこととしてしつけられました。大人もよほどのことがなければ夜に電話はかけませんでした。夜は心が休まる家族の時間でした。

「LINE 疲れ」という言葉を耳にします。24 時間、友達とつながっていなければと考えると、息が抜けず心が休まりません。寝る時も、トイレでもお風呂でもスマホが手放せなくなります。解放され、ほっとできる時間が必要です。

■今、学校では、子どもが一人一台のタブレットを持ち、それを活用した授業に向けて準備を進めています。世の中は、総デジタル社会に向けてさらに加速しています。この時代の流れは真摯に受け止めなくてはなりませんし、子どもたちはその中で生き、文化を創り上げていきます。

そのような中であっても、きっと、生きていく上で大切にしなければいけない不易なものは

(右上に続きます)

(左下から続きます)

あると信じています。こういう時代だからこそ、「夜はゆったりと家族の時間」のような、親と子がじっくりと向き合う時間が必要なのかもしれません。

■ある新聞記事に載っていた「親が子に当てたスマホのルール」として評判になったものを紹介します。

- ①このスマホは私が買ったもの。あなたに貸している。
- ②学校がある日は、午後 7 時半、週末は午後 9 時に親に預けること。
- ③学校に持って行ってはいけない。メールする友だちには直接話すこと。会話は人生のスキル。
- ④嘘をついたり、馬鹿にしたり、人を傷つけることにテクノロジーは使わない。
- ⑤面と向き合って言えないことをメールで送らない。
- ⑥ポルノ禁止。情報は親と共有すること。
- ⑦自分の大事な部分の写真などのやりとりなどをしない。インターネットは巨大で強力。消すのは難しい。
- ⑧写真やビデオのすべてを記録する必要はない。自分自身の体験を大切に。体験は永遠に残るもの。
- ⑨とどきどき家に置いていきなさい。スマホはあなたの一部ではない。これなしでも暮らしていける。
取り残されるのを恐れず、器の大きい人間になりなさい。
- ⑩いい音楽をダウンロードして聴きなさい。視野を広げなさい。
- ⑪ワードゲームやパズルなどの知能ゲームで時々遊びなさい。
- ⑫上を向いて歩きなさい。周囲の世界に目を向けなさい。会話をしなさい。すぐに検索しないで思考しなさい。
- ⑬約束が守れなかったら、没収します。もう一度話し合い、一緒に答えを出していきましょう。

ルールというと「やってはいけない」ことに終始してしまいがちですが、勧めていることもあることに気が付きます。これも、「親と子が向き合う」一つの手段かもしれません。

公開研究会開催に向けて

学校では「学習発表会」という大きな行事が終わり、学力の定着、向上を図るための取組に重点を移した活動が中心となります。

今年度から 2 年間は標茶町教育委員会の研究指定を受け、児童の学力向上のために欠かせない要素である「先生方の授業力向上」を図るために先生方も「研修（学習）」を続けています。

11月24日（木）には 2 年生の算数の授業をもとに「公開研究会」を開き、町内の先生方、釧路教育局指導主事、標茶町教育委員会指導室長をお招きし指導、助言を仰ぎ、今後の授業改善につなげていきます。

10/15 学習発表会

10月15日(土)に学習発表会が行われました。コロナ禍であるため学年ごとの開催となり、保護者の皆様の観覧も1家庭2名までと限定させていただきました。また、入れ替え制にもさせていただきご不便をおかけしたと思います。

そのような中でも、児童は自分たちの精一杯がんばって表現している姿を見てほしい、という願いをもって練習に取り組んできました。その成果は十分に発揮されていたのではないかと思います。観覧された保護者の皆様からの温かい拍手が表していたと思います。

さて、今年で3回目となった分散型の学習発表会ではありますが、その運営方法等についても貴重なご意見をいただいております。次年度どのような形で実施できるかは現在のところ見通しは立ちませんが、いただいたご意見も参考にしながら、児童の学習の成果を披露できる場としていきたいと思っております。

保護者の皆様におかれましては、お忙しい中のご観覧ありがとうございました。また、児童の皆さんは学習発表会に取り組んできたことで学んだことを、次の学習や学校生活に活かしていけるようがんばりましょう。



1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生

日	曜	11月行事予定	バス時刻	
			1便	2便
1	火	全校朝会⑤ 6年交流学习 ALT 安全点検日	14:50	16:00
2	水	特別日課	14:50	
3	木	祝日(文化の日)		
4	金	6年交流学习予備日 後期児童委員会活動日	14:50	16:00
5	土			
6	日			
7	月	縦割り遊び期間②~11/18	14:50	16:00
8	火	お話会(1月) 児童表彰練習① ALT	14:50	16:00
9	水	特別日課	14:50	
10	木	児童表彰練習② 放課後学習	14:50	16:00
11	金	お話会(2月) クラブ活動⑥ 定時退勤日	14:50	16:00
12	土			
13	日	釧P連研究大会(オンライン)		
14	月	バス乗車指導	14:50	16:00
15	火	児童表彰(3校時) ALT	14:50	16:00
16	水	特別日課 スクールカウンセラー来校日	14:50	
17	木	放課後学習	14:50	16:00
18	金	後期児童委員会活動日	14:50	16:00
19	土			
20	日			
21	月	小中交流ウィーク①	14:50	16:00
22	火	児童朝会② 小中交流ウィーク②	13:30	
23	水	祝日(勤労感謝の日)		
24	木	標茶小学校公開研究会 ※2年5時間授業	13:30	14:50
25	金	お話会(3月) 6年中学校体験入学 定時退勤日	14:50	16:00
26	土			
27	日			
28	月		14:50	16:00
29	火	授業参観・懇談会(1月, 3月, 5月, 6雪) 児童生徒作品展(ういず)~12/5	14:50	16:00
30	水	特別日課 スクールカウンセラー来校日	14:50	

10/24 新しい1年生を迎える会(1年)



24日(月)に令和5年度に本校に入学する予定の年長さんたちを1年生が小学校に招待してゲーム等をして楽しい時間を

過ごしました。「どうしたら楽しめるのかな?」を意識しながら遊びや進め方を考えてきました。先生方に手伝ってもらった場面もありましたが、最後までやり遂げました。園の先生方にも成長した姿を見せることができました。また、皆さんの思いはきっと伝わっていると思います。がんばりました。

10/27 社会見学(4年)



27(木)に4年生が社会科の学習の一環で標茶町博物館「ニタイ・ト」と塘路湖エコミュージアムセンター「あるこっと」の見学に行ってきました。

博物館では標茶町の人の暮らしの移り変わりについて学んできました。また、エコミュージアムセンターでは塘路湖周辺を中心に町内の自然について学習しました。

10/27 防災学習(6年)



北海道開発局、釧路気象台等にご協力いただき、「防災学習」を行いました。台風による水害等発生を想定し、自身の行動やそれに伴う準備をグループで検討し1日前からの行動タイムラインを作成しました。「もしも」の時のために備えておく、とても大切学習でした。

